

1. 科目名 (単位数)	音楽実践演習Ⅱ (2単位)	3. 科目番号	SJMP2145										
2. 授業担当教員	杉原 由利子												
4. 授業形態	演習、講義、実技	5. 開講学期	秋期										
6. 履修条件・他科目との関係	「音楽」「音楽実践演習」「音楽Ⅱ」を履修していること。												
7. 講義概要	「音楽実践演習Ⅱ」では「音楽Ⅱ」で学んだことを実践する力をさらに高めるための演習を行う。リズム活動で使用される楽曲の演奏や動きに合わせて即興的に演奏する方法を実践的に学ぶ。わらべうたに関する理解を深め、歌い遊べるわらべうたのレパートリーを増やす。リズム楽器をはじめとする、保育活動で使用される楽器の正しい奏法、扱いに習熟し、子どもの歌や楽曲を楽器で楽しむ方法を学ぶ。弾き歌いの演奏技術に関しては継続的に演奏力を磨く。手遊び歌のレパートリーを増やし手遊び歌はわらべうた同様、正しい音程で歌えるように演習を重ねる。												
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. リズム活動のためのピアノ演奏ができ、自身も音楽に合わせてリズムカルに動ける。</li> <li>2. 保育活動で使われる楽器に関する正しい知識を持つ。楽器遊びや合奏にアレンジできる力をつける。</li> <li>3. 手遊び歌、わらべうたのレパートリーを増やし、正しく歌い遊ぶことができる。</li> <li>4. 弾き歌いの演奏技術を高める。</li> </ol>												
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内で扱う内容 (リズム譜、手遊び歌、子どもの歌の歴史、記譜等) を、よく復習し、実際の楽曲の内容と照らし合わせて学修しましょう。</li> <li>・移動ドの読みの円滑さを向上させるよう繰り返し練習しましょう。</li> <li>・第8回及び15回の授業で小テストを行います。このテストを1度でも欠席するとI評価になりますので、必ず出席してください。また、音楽理論に関する領域の学修の確認のために、模擬的に教員役を担当し頂く短時間の「模擬授業」を実践していただきます。</li> </ul>												
10. 教科書・参考書・教材	教科書・杉原由利子・赤塚太郎『新しい音楽のおさらい』共同音楽出版社 『新刊これだけは歌って弾こう子どもの歌70』共同音楽出版社 その他「音楽Ⅱ」で使用したものを継続使用します。その他に必要な資料は配布します。毎回「音楽Ⅱ」で使った教科書を準備してください。												
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. リズム活動のためのピアノ演奏ができ、自身も音楽に合わせてリズムカルに動けるか。</li> <li>2. 保育活動で使われる楽器に関する正しい知識を持ち、楽器遊びや合奏にアレンジできるか。</li> <li>3. 手遊び歌、わらべうたを正しく歌い遊ぶことができるか。</li> <li>4. 弾き歌いの演奏技術が高められたか。</li> </ol> ○評定の方法 以下の点を総合して評価する。 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>1. リズム活動のためのピアノ演奏と動きの発表</td> <td style="text-align: right;">総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>2. 保育活動で使われる楽器を使った楽器遊びや合奏の発表</td> <td style="text-align: right;">総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>3. 手遊び歌、わらべうたの発表</td> <td style="text-align: right;">総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>4. 弾き歌いの発表</td> <td style="text-align: right;">総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>5. 授業への取り組み (学習意欲・学習態度など)</td> <td style="text-align: right;">総合点の20%</td> </tr> </table> 上記のほか、本学規定に定められている3/4以上の出席を単位認定の条件としている。			1. リズム活動のためのピアノ演奏と動きの発表	総合点の20%	2. 保育活動で使われる楽器を使った楽器遊びや合奏の発表	総合点の20%	3. 手遊び歌、わらべうたの発表	総合点の20%	4. 弾き歌いの発表	総合点の20%	5. 授業への取り組み (学習意欲・学習態度など)	総合点の20%
1. リズム活動のためのピアノ演奏と動きの発表	総合点の20%												
2. 保育活動で使われる楽器を使った楽器遊びや合奏の発表	総合点の20%												
3. 手遊び歌、わらべうたの発表	総合点の20%												
4. 弾き歌いの発表	総合点の20%												
5. 授業への取り組み (学習意欲・学習態度など)	総合点の20%												
12. 受講生へのメッセージ	「音楽」「音楽実践演習」「音楽Ⅱ」と授業を受けて作られた素地を活用し、より実践的な内容を受け取れるよう、各項目への理解を深めましょう。特にリズムやコードに関する内容は、実際の楽曲を通して、机上に留まらない、実践型の学修を行って下さい。音楽は理論と実践の両輪で成立しますので、その双方を大事にしながら、「楽しく」音を表現できるよう、主体的に学修に取り組んでください。弾き歌いに関して、仕上げの段階に達した時の定例として、教室設置のグランドピアノを使用し、全員でリレー式の演奏を行います。また、必ず授業終了後、授業の振り返りを書いて頂きます。自身の理解度や演奏の習熟の進捗を、常に確認する習慣を持ちましょう。												
13. オフィスアワー	授業中に通知する												
14. 授業展開及び授業内容													
講義日程	授業内容	学習課題											
第1回	子どもの歌① リズム譜 (わらべうた) ① 記譜 (わらべうた) 及び実技① 音楽理論の復習①音名・階名・音符・休符・拍子 ハンドサインの実践とコードチャート① 新しい音楽のおさらいの中に関連の内容紹介	事前学習	「音楽Ⅱ」で学んだことを復習する。										
		事後学習	音楽理論の復習課題及び課題曲を練習する。 ハンドサインを覚える。 平易なわらべうたの旋律の記譜を、短時間で 行い、記譜に慣れるようにする。										
第2回	子どもの歌② リズム譜 (わらべうた) ② 記譜 (わらべうた) 及び実技② 音楽理論の復習②音程 (音の幅)、三和音の基本形と転回形 ハンドサインの実践とコードチャート② ・音楽理論の模擬授業 (学生による)	事前学習	課題曲に取り組む。										
		事後学習	音名と階名の違いをよく確認する。日本音名・英音名なども併せて確認する。 ハンドサインを覚える。										
第3回	子どもの歌③ リズム譜 (わらべうた) ③ 記譜 (わらべうた) 及び実技③	事前学習	課題曲を練習する。										
		事後学習	音程や三和音について、子どもの歌に多い4										

	音楽理論の復習③長三和音（メジャーコード） ハンドサインの実践とコードチャート③ ・音楽理論の模擬授業（学生による）		つの長調などで確認する（ハ・ト・ヘ・二長調）ハンドサインを覚える。
第4回	子どもの歌④ リズム譜（わらべうた）④ 記譜（わらべうた）及び実技④ 音楽理論の復習④短三和音（マイナーコード） ハンドサインの実践とコードチャート④ ・音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	各自の課題曲に取り組む。
		事後学習	長三和音（メジャーコード）の構造の復習。 ハンドサインを覚える。
第5回	リズム活動①手や体の動きをとまなう表現と音 子どもの歌⑤ リズム譜（わらべうた）⑤ 記譜（わらべうた）及び実技⑤ 音楽理論の復習⑤コードネーム、コード奏 ハンドサインの実践とコードチャート⑤ ・音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	短三和音（マイナーコード）が使われている曲を例に挙げ、和音がどのような構造になっているかを考える。
		事後学習	短三和音の構造の復習。 ハンドサインを覚える。
第6回	リズム活動②手や体の動きをとまなう表現と音の続き 子どもの歌⑥ リズム譜（わらべうた）⑥ 記譜（わらべうた）及び実技⑥ 音楽理論の復習⑥七の和音（セブンスコード） ハンドサインの実践とコードチャート⑥ ・音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	コードネームについてその仕組み、使い方を考える。
		事後学習	コードネームの課題に取り組む。 ハンドサインを覚える。
第7回	手遊び歌・わらべうた 子どもの歌⑦ リズム譜⑦ 記譜（わらべうた）及び実技⑦ 音楽理論の復習⑦コードネームの総復習 ハンドサインの実践とコードチャート⑦ ・音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	七の和音（セブンスコード）についてその仕組みを考える。
		事後学習	和音・コードネームの総復習、課題曲の練習。 ハンドサインを覚える。
第8回	第1回小テスト（手遊び歌・わらべうた）の発表	事前学習	教科書等を参考にし、手遊び歌やわらべうたを出来るだけ多く例に挙げられるように準備する。
		事後学習	コードネームについて疑問点がないか、確認する。
第9回	子どもの歌⑨ リズム譜（わらべうた）⑨ 記譜（わらべうた）及び実技⑨ 色々な楽器に触れる① 音楽理論の復習⑨音階 手遊び歌の実践① ・音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	発表に備える。
		事後学習	伴奏形に着目して、課題曲に取り組む。
第10回	子どもの歌⑩ リズム譜（わらべうた）⑩ 記譜（わらべうた）及び実技⑩ 色々な楽器に触れる② 音楽理論の復習⑩調号、＃・♭のつく調 手遊び歌の実践② ・音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	保育所・幼稚園で使われている楽器を調べる。
		事後学習	各楽器の取り扱い方法を確認する。
第11回	子どもの歌⑪ リズム譜（わらべうた）⑪ 記譜（わらべうた）及び実技⑪ 音楽理論⑪簡単なテスト1 手遊び歌の実践③ ・音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	記譜課題に取り組む。
		事後学習	課題曲を練習する。
第12回	子どもの歌⑫ リズム譜（わらべうた）⑫ 記譜（わらべうた）及び実技⑫ 音楽理論⑫簡単なテスト2 手遊び歌の実践④ ・音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	音楽理論で疑問点・不明点がないか、見直しておく。
		事後学習	課題曲を練習する
第13回	子どもの歌⑬ リズム譜（わらべうた）⑬ 記譜（わらべうた）及び実技⑬ 音楽理論⑬簡単なテスト3 手遊び歌の実践⑤ ・音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	音楽理論の総復習課題を完成させる。
		事後学習	授業で扱った子どもの歌について、内容を整理し、理解を深める。

第14回	子どもの歌⑬ リズム譜（わらべうた）⑬ 記譜（わらべうた）及びピアノ実技⑬ 音楽理論簡単なテスト4 手遊び歌の実践⑥ ・音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	実技の課題曲を練習する。
		事後学習	発表後のおさらい。次回発表の準備。
第15回	第2回小テスト弾き歌いの発表	事前学習	発表に備える。
		事後学習	学期中に学習したことを復習する。